

What is TBS

TBSは、BMD測定の補足として使用するために提供される高度なイメージングソフトウェアです。TBSは、海綿骨構造指標の略で、骨の微細構造の指標であり、骨折リスク予測のための独立したパラメーターです。

TBSスコアは 腰椎測定を行ったすべての患者に提供可能です。TBSアルゴリズムは、DXA画像を2次元で分析して、3次元の骨構造を評価します。

Who will benefit the most

TBSには以下の臨床的利点があります。

原発性骨粗鬆症: TBSが低い骨量減少領域カテゴリの患者は、骨粗鬆症患者と同じくらい骨折のリスクがあります。²

続発性骨粗鬆症: TBSは、糖尿病、グルココルチコイド誘発性骨粗鬆症、腎臓および甲状腺疾患の骨折のリスクがある患者を特定します...³

治療の開始とモニタリング:

TBS、BMD、および臨床的危険因子を使用して、未治療の患者で治療を開始すべきかどうかを判断できます

TBSは、anabolic therapyのモニタリングに役立つ可能性があります⁴

How to interpret



TBSがグリーンゾーンにある場合: 骨折のリスクが低く、正常な骨の微細構造を示唆しています。

TBSが黄色のゾーンにある場合: 骨折のリスクが中程度であり、部分的に劣化した骨の微細構造を示唆しています。

TBSがレッドゾーンにある場合: 骨折のリスクが高く、骨の微細構造が劣化している可能性があります。⁵

新しいFRAX

現在のFRAXは、TBS結果を調整して骨折リスクを評価する機能を有しています。一部の患者は、「非治療」ゾーンから「治療」ゾーンに、またはその逆にシフトします。

Why using it

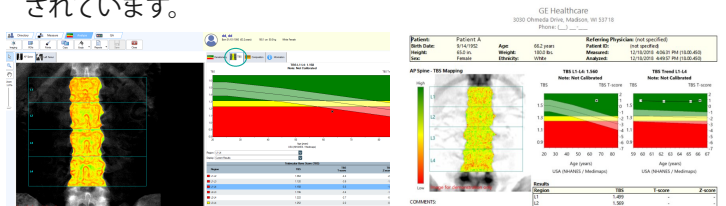
骨粗鬆症は、低骨量と微細構造の劣化が特徴です。

BMDのTスコアは骨粗鬆症を診断するためのゴールドスタンダードですが、骨量のみに関連しています。骨は複雑で、BMDがすべての骨折を説明することができないため、骨折した患者の50%は「骨粗鬆症」カテゴリに属していません。

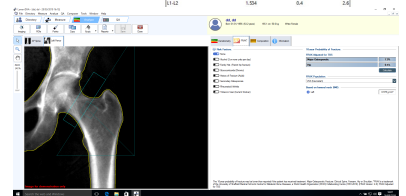
骨構造の劣化(TBSによって評価)は、識別されない一部の骨折を説明可能です。BMDとTBSを組み合わせることによって、より多くの骨折リスクを持つ患者の特定に役立ちます。

Where to find it

enCORE V18には、TBSスコアとマッピングを表示する新しいTBSタブがあります。また、DXAレポートにTBSの新しいページが用意されています。



大腿骨骨密度結果をTBS結果に基づいて調整されたFRAX結果を提供します。



Conditions of use

フレックストライアル: TBSオプションは2か月間有効です。

- 腰椎測定のみで使用可能で、大腿骨測定または前腕骨測定の計算には使用できません。
- 成人のみ使用可能です。20歳未満の患者を対象としていません。
- BMI が $[15 - 37 \text{ kg/m}^2]$ を外れた患者を対象としたものではありません。
- キャリブレーション: DXAシステムは、特定のTBSファントムで校正する必要があります。
- DXAの入れ替え: TBSライセンスでは、1つのDXA装置からのスキャンのみを処理できます。古いDXA装置からの測定は処理できません。

References

1. Siris et al. Arch Intern Med. 2004
2. Hans, et. al. JBMR 26:11 2762-2769
3. Olivieri et al. Endocrine. 2014
4. www.iscd.org/official-positions/2019-iscd-official-positions-adult/
5. McCloskey, E. V. et al. J. Bone Miner. 2016

Medimaps Group has been certified by BSI to ISO 13485:2016 under certificate number MD 715500. TBS iNsight® is FDA cleared and CE marked (CE 2797).

詳しくは下記を御覧ください。

当社のウェブサイト: www.medimapsgroup.com

教育プラットフォーム: www.elearning.medimapsgroup.com